



AJAJ

Association of Jungian Analysts, Japan

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ) 主催

2021年度 第9回 日本ユング心理学研究所 研修会のご案内

日時： 2022年3月6日(日) 12:00~16:45

会場： オンサイト： 京都リサーチパーク (京都市下京区中堂寺粟田町 93)
オンライン： ZOOM

ご挨拶

私ども AJAJ の研修会も今年で9回目を迎えることとなりました。
新型コロナウイルスの影響が残る中、今年度も昨年度に引き続き、オンサイト・オンラインいずれの形態でもご参加頂けるハイブリッド形式での開催とさせて頂くことと致しました。

今年度の全体講演は、秋田巖先生が「現実創造と心理療法」というタイトルでお話しくださいます。コロナ禍で社会の在り方も大きく変化して参りましたが、我々が置かれた時代の変化に伴い、これまで一般的に常識と思われてきたものごとにも認識の変化が求められるようになっております。そのような中であって、心理療法をどのように考え実践していけばいいのか、ご講演を通じ、皆様方お一人お一人の経験にも照らしつつ、ともに思いを深める機会となりましたら幸いです。

全体講演に引き続く分科会は、分科会4つ、基礎コース4つの8コースの構成となっております。ユング心理学を基礎から学んでみたいと思われる方も、更に深めたいとお考えの方も、それぞれの学びの場として、ぜひ奮ってご参加ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2022年1月吉日

一般社団法人 日本ユング派分析家協会 (AJAJ)
会長 豊田 園子

<開催要領>

1. 開催形態： オンサイト&オンライン聴講型

- 会場に直接ご来場頂く(オンサイト)か、ZOOMでご視聴頂く(オンライン)かを選択して頂けます。
- オンライン聴講の場合、一方向的に講義をご視聴頂けますが、音声での発言はできません。
ご質問等は、Zoomのチャット機能を使用して頂くことになります。
- 講師・事例発表者は原則オンサイト(会場)です。

2. 定員： 180名（定員に達し次第、受付締切）

3. 参加資格： 守秘義務を負い得る、かつ、以下いずれかの条件を満たす方

- ① 日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生
- ② 心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③ 臨床心理学を専攻する大学院生

4. 参加費（10%消費税込み）

- ①一般：¥6,600- ②登録会員：¥5,500- ③聴講生・候補生：¥4,400-

*②③は、それぞれ日本ユング心理学研究所の登録会員・聴講生・候補生で、それ以外は①一般となります。

5. 研修内容：

- (1) 全体講演： 時間 12:00~13:30（受付は11:30より）
会場 京都リサーチパーク（西地区4号館・2階）ルーム1

テーマ：「現実創造と心理療法」

講師：秋田 巖（メンタルクリニック オータム）

概要：心理療法においてクライアントは内的・外的現実創造を為さなければならない。

その方法として夢分析・箱庭療法等々があるが、「現実」なるものがこれまでとは異なる姿を
ごく最近露わにし始めた。新たなる扉が開かれつつある。我々の生きている歴史や宇宙の在り
様がこれまでの認識とは異なるものへと変化していくのであれば、自ずと「心理療法」の在り
様も変容せざるを得ない。…と、そこまで拵げた話ができるかどうかかわからないが、身体面か
らの突破口の一つとして藤川分子栄養学を紹介する予定である。

(2) 分科会／基礎コース： 時間 13:45~16:45

以下の8グループ（分科会4・基礎コース4）に分かれて行います。

*事例提供ご希望の方は、お申込の際、その旨と事例概要（100字程度）をお書き添えください。

発表の可否につきましては、申込締切後、事務局よりご連絡いたします。

*発表者は原則オンサイトでの参加となります。

【第1分科会】 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「文化のはざまとユング派心理療法」

西洋で確立されたユング派心理療法を日本で行うにあたっては、様々な文化的違いに考慮する必要がある。それに加えて、近年では日本での留学生や外国人就労者、さらには外国人のパートナーや家族を持つ人の心理療法のニーズが高まっていて、文化のはざまによる様々な問題が多く見られる。この分科会では文化のはざまにより生じてくる問題を概観しつつ、事例によって検討したい。

*事例提供者：古川真由美氏

【第2分科会】 田熊 友紀子（代官山心理・分析オフィス）

「心理療法におけるセラピストのトリックスター性」

本分科会では、現代の心理療法におけるトリックスター元型の現れについて、特にセラピスト側のトリックスター的な動きについて考えます。ユング派心理療法が、セラピストとクライアント双方の意識・無意識全体が関わる作業であるからには、セラピストの無意識が心理療法に影響を与えることは避けられません。それは失敗につながることもあれば、膠着したプロセスを転換させる契機ともなり得ます。

* <事例募集> このテーマに関係しそうと思われる事例を募集します。

【第3分科会】 田中 康裕（京都大学）

「ユング派心理療法における初期面接と見立て」

ユング自身が心理療法における「医学的診断」とは異なる「心理学的診断」の重要性を強調したように、ユング派の初期面接においては、クライアントの「病理」に焦点を当てるのではなく、その内的世界に潜在する創造性や建設性と手を結ぼうとする傾向が強い。「治療が終結した時のみ明らかになる」診断とは、そのようなプロセスの始まりにあるセラピストの側の認識である。この分科会では、このようなユング派的な観点から、初期面接と見立てについて考えたい。

* <事例募集> 面接初期の事例を募集します。

【第4分科会】 深津 尚史（医療法人同心会 杉田病院）

「呪術師ドン・ファンのシャーマニズムによるトラウマの精神療法

—ユングのサトルボディの観点から—

人類学者カルロス・カスタネダがヤキ族の呪術師ドン・ファンに学んだシャーマニズムから、ユングのサトルボディ概念を応用したトラウマの精神療法を検討する。ドン・ファンは見ること（seeing）というヴィジョンを介して、弟子のトラウマを効果的に活用し、分身（double）という夢身体を育て上げた。ユング派分析家カルシェッド（1998）は複雑性PTSDをセルフに起因する元型的防衛の病理と捉えたが、セルフの象徴はサトルボディに変容することでトラウマ治療に役立つと思われる。

【基礎コース1】 豊田 園子（豊田分析プラクシス）

「河合隼雄『影の現象学』を読む」

河合隼雄先生の初期の名著である『影の現象学』を改めて読んでみたいと思います。影はユングのいう「元型」の中ではもっとも身近でありながら、実際にそれを受け入れることや、それとうまく付き合っていくことは至難の業であることは身にしみて思うことです。生きている限り人には影があり、むしろ影があるからこそ生きていられるという視点からも考えてみたいと思います。

受講する方はテキストとなる河合隼雄著『影の現象学』（講談社学術文庫）を準備し、持参していただくようお願いいたします。

文献：河合隼雄『影の現象学』（講談社学術文庫）

【基礎コース2】 榊藏 美智子（立命館大学、ぼこあぼこ分析オフィス）

「アートなセミナー ～風景構成法をあじわう」

10のアイテム、それぞれのイメージを深めながら、風景構成法の世界をあじわい、描いていくセミナーです。例えば、H・NAKAI 風景構成法に所収されている滝川一廣先生の事例にある石、この事例についての河合隼雄先生のコメントを参照に、また、ユングの変容の象徴を参考に、個々のイメージに入っていきます。レクチャーとワークを織り交ぜた内容になります。

*オンサイト参加の方にも、パソコンとイヤホンを持参・接続いただき、オンライン参加の方とも交流しながら、ワークしていただきます。

*紙とペン、色鉛筆やクレパスなど準備いただきます。

文献：『H・NAKAI 風景構成法』山中康裕編集（岩崎学術出版社）

C.G.ユング『変容の象徴』（ちくま学術文庫）

【基礎コース3】 松本 憲郎（心理療法室カムイプヤラ）

「『ユング自伝2』、XI章『死後の生命』を読む」

ユングは、その『自伝』の終わりに『死後の生命』の章を立て、それについてユングが晩年に到達した考えを率直に語っています。そして、そのことを通して、ユング自身の打ち立てた心理学の本質をも明らかにしております。本講座では、まずこの章をじっくり読み、そののち、ユングがそこで語った大切な論点のいくつかについて、議論を深めたいと思います。

文献：C.G.ユング『ユング自伝2』（みすず書房）

【基礎コース4】 吉川 眞理（学習院大学）

「現代における個性化の体験について」

ユングは生涯における心の変容について研究を続け、その過程を個性化として名付けた。ユングによれば、その過程には、分析において生じる分析家とクライアントの関係性が深く関わっており、その過程を理解する上で、錬金術において出現するイメージが重要な役割を果たしている。この個性化が個々の心において生じる過程であるならば、それは実際に一人一人の人生においてどのように体験されるのだろうか？ユングの著作を出発点として、第2世代、第3世代の分析家の著作より、その理解の拡がりをたどってみたい。

文献：C.G.ユング『転移の心理学』（みすず書房）

6. 参加申込について

当協会ホームページ（<http://www.ajaj.info/kenshukai.html>）、もしくは右記 QR コードの申込フォーム（Google フォーム）よりお申し込みください。



お申込が完了しましたら、フォームにご入力頂いたメールアドレス宛に自動返信メールが送信されますが、AJAJ 事務局からではなく、Google フォームより「AJAJ 第 9 回研修会お申込みフォーム」というタイトルで届きます。

* 確認メールが届かない場合（迷惑メールフォルダもご確認ください）は、AJAJ 事務局（infoajaj@circus.ocn.ne.jp）までお問い合わせください。

* 申込締切：2022 年 1 月 31 日（月）

・これ以降、フォームからのお申し込みはできません。

7. 参加可否について

- ・申込締切後の2月初～中旬頃に、お書き頂いたご連絡先に通知を差し上げます。
- ・お申込み受付は原則として先着順とさせていただきますが、希望者多数の場合には参加頂けない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・申込者本人のみご参加可能です。

8. 参加費のお振込について

参加頂ける方につきましては、2022 年 2 月 24 日（木）までに、下記口座までお振り込みください。

振込先： 三井住友銀行 京都支店 普通 7908843
一般社団法人 日本ユング派分析家協会

* お振込みは、必ず本人のお名前をお願いします（異なる場合は、事前にご連絡ください）。

* 納入された参加費はご返金できませんので、ご了承ください。

9. 研修ポイントについて

全体講演と分科会の両方に参加された場合、日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士教育・研修規定別項第2条(4)により、一般参加2ポイント、事例発表者4ポイントの取得となります。

10. 研修証明書について

研修証明書をご希望の方は、申込時に「研修証明書の発行について」の項目で「希望する」にチェックを入れてください。

11. 会場／ZOOM 情報について

- ・オンサイト参加の皆様におかれましては、地図（6頁）をご参照ください。
- ・各分科会の会場・ZOOM 情報につきましては、3月4日（金）までにメールにてお知らせ致します。

お問合せ先： 一般社団法人 日本ユング派分析家協会（AJAJ）事務局

住 所： 〒604-8126 京都市中京区高倉通蛸薬師下る貝屋町 558 澤田ビル 2 階 201 号

FAX： 075-253-6560 e-mail：infoajaj@circus.ocn.ne.jp

AJAJ 主催
 第9回 日本ユング心理学研究所 研修会 会場案内
 2022年3月6日(日)

京都市リサーチパーク

京都市下京区中堂寺栗田町 93

URL : <https://www.krp.co.jp/access/>



■ アクセス

京都駅より

JR 嵯峨野線(山陰線) 2駅(約5分) 丹波口駅下車 西へ徒歩5分

バス

京都市営バス	73、75、83、86号系統	約13分	「京都市リサーチパーク前」下車	徒歩5分
京阪京都交通バス	21、21A、27号系統	約13分	「京都市リサーチパーク前」下車	徒歩5分
京阪京都交通バス	直行93号系統	約10分	「京都市リサーチパーク4号館前」下車	すぐ